

「登米市の環境についての事業所アンケート調査」の結果について

< 調査の概要 >

このアンケート調査は、市内の事業者が日ごろ登米市の環境に関して考えていることや環境保全に取り組んでいることなどを把握し、環境基本計画に反映させていくことを目的として、市内の事業所の中から200事業所(うち従業員30人以上の事業所の中から50事業所,従業員30人未満の事業所の中から150事業所)を抽出して実施した。

調査書は、平成18年9月に対象者に郵送し、平成18年10月に郵送により回収した。

< 回収の状況 >

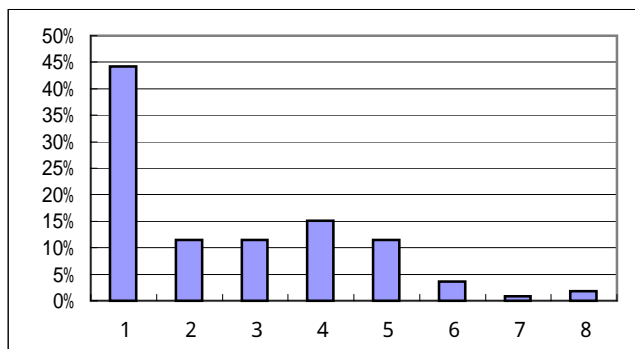
今回のアンケートでは、113件の回答が寄せられ、すべてが有効回答であった。

有効回答率は56.5%であった。

< 各設問への回答結果 >

問1 貴事業所の登米市内での従業員数(臨時の従業員,被派遣社員等を含む。)は次のうちどれですか
(該当する番号を1つ で囲んでください。)

1	1人～5人	50	44.2%
2	6人～10人	13	11.5%
3	11人～30人	13	11.5%
4	31人～50人	17	15.0%
5	51人～100人	13	11.5%
6	101人～300人	4	3.6%
7	301人～500人	1	0.9%
8	500人以上	2	1.8%

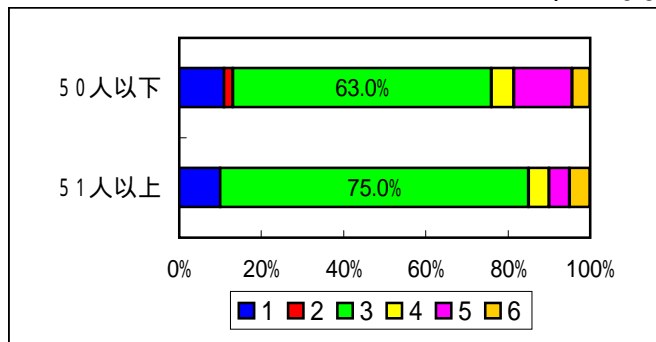
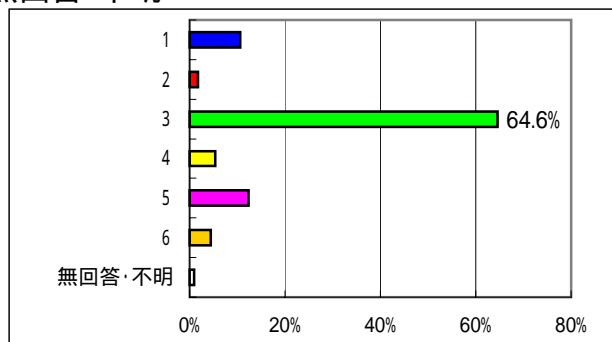


< 解説 >

市内には従業員5人以下の事業所が最も多い。市内事業所の規模別割合をおおよそ反映した結果であると言える。

問2 登米市は、これからしばらくの間、環境と開発のどちらにより力を入れるべきだと思いますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。しばらくの間とは10年ぐらいとします。)

1	これからしばらくの間は、開発よりもっと環境に力を入れるべきだ。	12	10.6%
2	これからしばらくの間は、開発よりもやや環境に力を入れるべきだ。	2	1.8%
3	環境と開発のバランスをとるべきだ。	73	64.6%
4	これからしばらくの間は、環境よりもやや開発に力を入れるべきだ。	6	5.3%
5	これからしばらくの間は、環境よりもっと開発に力を入れるべきだ。	14	12.4%
6	よくわからない。	5	4.4%
	無回答・不明	1	0.9%

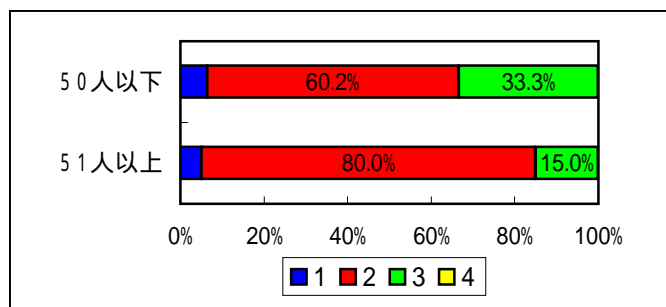
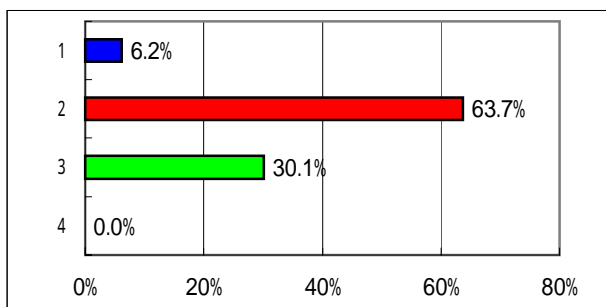


< 解説 >

一般住民アンケートや児童生徒アンケートの結果と同様、事業所アンケートでも「環境と開発のバランスをとるべきだ」という意見が大多数であった。
 ただ、小規模の事業所では大規模の事業所に比べて「環境と開発のバランスをとるべきだ」が12ポイント少なく、「開発に力を入れるべきだ」が8ポイント多くなっている。しかし大勢はあまり変わらないと言えよう。

問3 登米市は、環境と産業(経済)のどちらを優先すべきだと思いますか。
 (最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 環境を優先すべきだ。	7	6.2%
2 環境と産業(経済)の共生(両立)を図るべきだ。	72	63.7%
3 産業(経済)を優先すべきだ。	34	30.1%
4 よくわからない。	0	0.0%

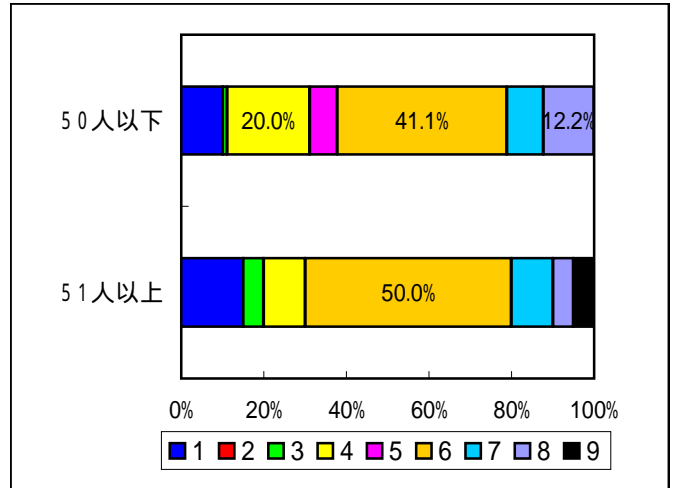
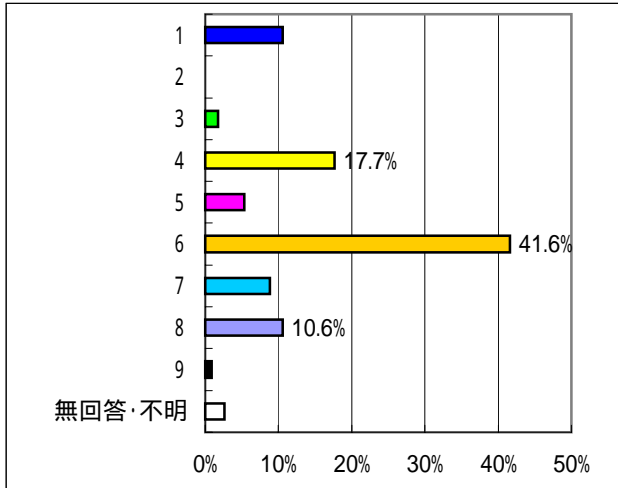


< 解説 >

一般住民アンケートの結果と同様、「環境と産業の共生」が最も多かった。
 また、一般住民アンケートの結果よりも「環境優先」は少なく、「産業優先」は多かった。
 事業所の規模別に見てみると、「環境と産業の共生」が大多数であることは変わらないが、従業員50人以下の事業所では従業員51人以上の事業所に比べて「産業優先」という意見の割合が倍以上になっていることが目立つ。

問4 登米市が環境対策として最も急いで進めるべきものは何だと考えていますか。
 (最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 自然環境保全対策	12	10.6%
2 野生生物保護対策	0	0.0%
3 大気汚染防止対策	2	1.8%
4 水質汚濁防止対策	20	17.7%
5 騒音・振動対策又は悪臭対策	6	5.3%
6 廃棄物(ごみ)対策又は資源循環(リサイクル)対策	47	41.6%
7 地球温暖化対策(エネルギー対策を含む。)	10	8.8%
8 環境教育(市民への普及啓発を含む。)	12	10.6%
9 その他	1	0.9%
無回答・不明	3	2.7%

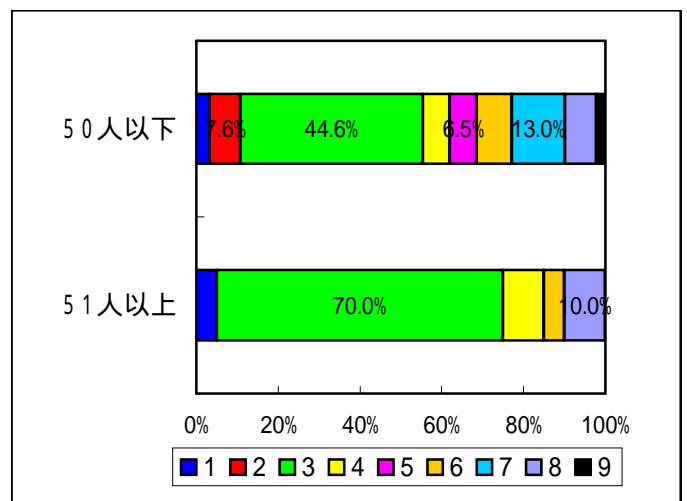
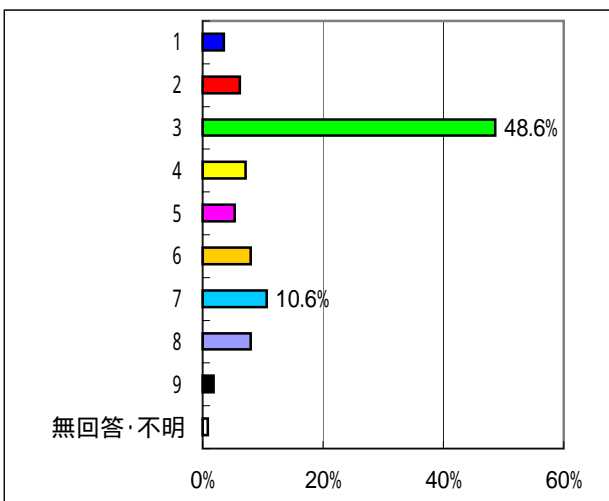


< 解説 >

ごみやリサイクル対策を急務の課題ととらえる事業所が最も多く、際だっているのが分かる。
 事業所の規模別に見てみると、規模の大きなところではますます「ごみ・リサイクル」に特化する一方、規模の小さなところでは「水質保全対策」や「環境教育」を急務の課題に挙げるところも目立ち、事業所によって多様なとらえ方をしているようである。

問5 登米市の環境行政に最も望むことは何ですか。
 (最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 環境を守るためにもっと規制を強化してほしい。	4	3.5%
2 産業(経済)の発展のためにもっと規制を緩和してほしい。	7	6.2%
3 環境保全と産業(経済)振興の調和に配慮してほしい。	55	48.6%
4 環境施策の充実にもっと力を入れてほしい。	8	7.1%
5 地域の公害紛争(苦情など。)処理にもっと積極的に関わって欲しい。	6	5.3%
6 事業所や市民の環境保全活動をもっと支援してほしい。	9	8.0%
7 環境情報の提供や環境教育(普及啓発を含む。)をもっと充実してほしい。	12	10.6%
8 事業所や市民との話し合いの場をもっと設けてほしい。	9	8.0%
9 その他	2	1.8%
無回答・不明	1	0.9%



< 解説 >

「環境保全と産業振興の調和に配慮してほしい。」という意見が最も多かったが、従業員51以上の事業所ではこれが7割に達するなど、大規模なところほどこの意見に集中する傾向が見られた。

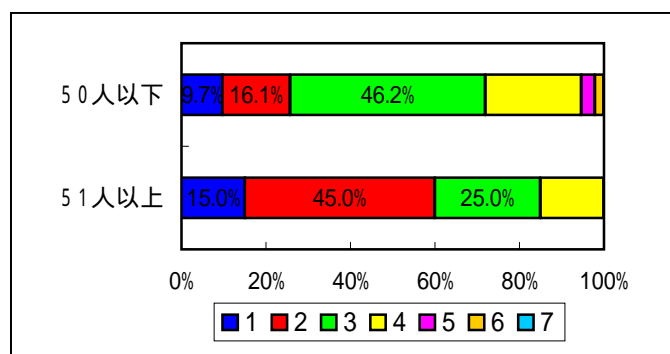
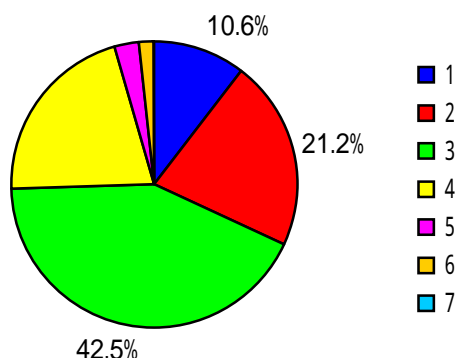
小規模の事業所では、環境情報の提供や環境教育へのニーズが高いほか、公害紛争処理について行政の関わりを期待する声や規制緩和を求める声もやや目立つようである。

このほか、大規模な事業者では「事業所との話し合い」を求める声もやや多い。

問6 貴事業所における環境への重視度をお答えください。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 環境を最優先で重視している。	12	10.6%
2 環境をかなりの優先度で重視している。	24	21.2%
3 どちらかと言えば環境をやや重視している方だ。	48	42.5%
4 どちらとも言えない。	24	21.2%
5 どちらかと言えば環境をやや後回しにしている方だ。	3	2.7%
6 環境をあまり重視していない方だ。	2	1.8%
7 環境はほとんど重視していない。	0	0.0%



< 解説 >

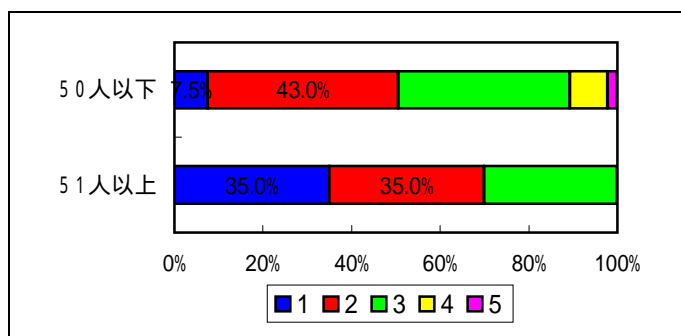
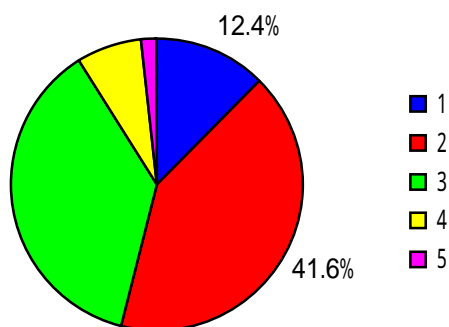
規模の大小に共通して環境を重視する事業所は極めて多いが、従業員51人以上の事業所では環境を重視するところが85%にも達している。

事業所にとっても環境がいかに重要であるかを如実に示した結果であると言える。

問7 貴事業所は、環境に配慮をしている方だと思いますか。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 環境への配慮には、かなりの自信をもっている。	14	12.4%
2 どちらかといえば環境に配慮している方だと思う。	47	41.6%
3 環境へのやさしさはふつうくらいだと思う。	42	37.1%
4 どちらかといえば環境への配慮をしていない方だと思う。	8	7.1%
5 ほとんど環境には配慮していない。	2	1.8%



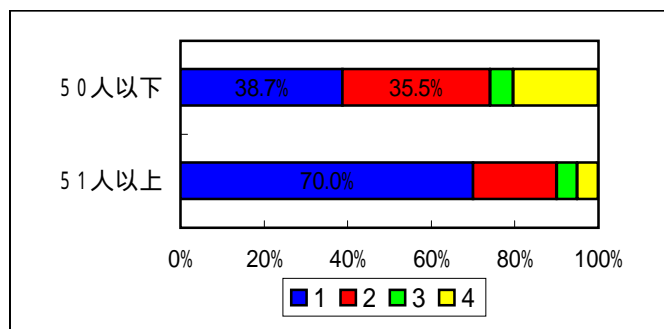
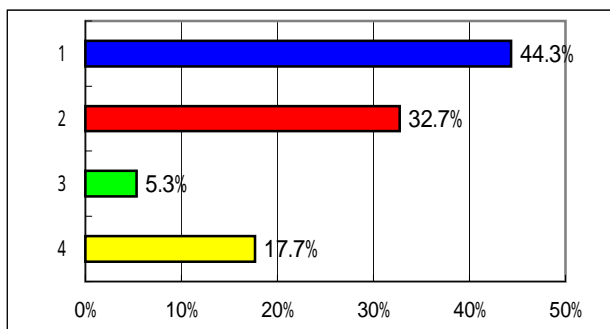
< 解説 >

大半の事業所で環境に対してはかなりの配慮をしていることが分かるが、規模が大きくなるほどその傾向は顕著になり、従業員51人以上の事業所ではかなりの自信をもっているところが35%にも上る一方で、環境に配慮していないところは皆無であった。

規模の小さなところでは、環境まで手が回らないところも少数ながら存在する。

問8 環境への配慮は、経営にプラスだととらえていますか、マイナスだととらえていますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 環境への配慮は、経営にプラスだととらえている。	50	44.3%
2 環境への配慮は、経営にはニュートラル(中立)だととらえている。	37	32.7%
3 環境への配慮は、経営にマイナスだととらえている。	6	5.3%
4 よくわからない。	20	17.7%

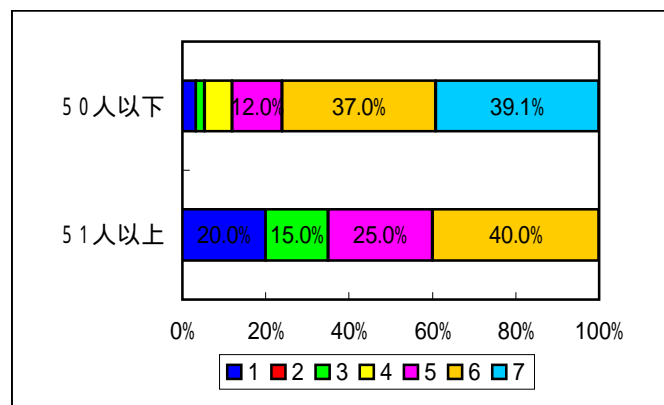
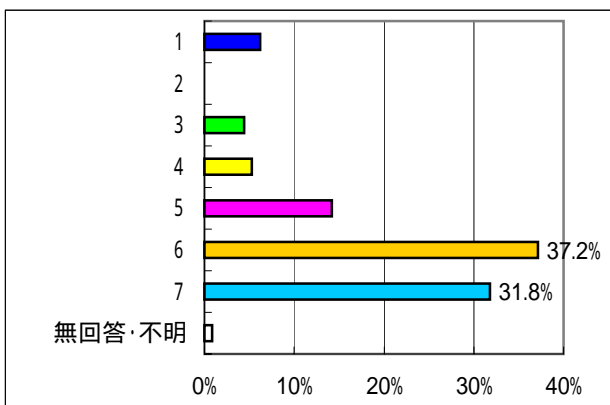


< 解説 >

環境への配慮が経営にとってプラスだととらえる事業所が最も多く、マイナスだととらえる事業所はごく少数である。従業員50人以下の事業所ではプラスとニュートラルが半々だが、従業員51人以上の事業所ではプラスととらえる事業所が実に7割を占め、環境への意識の高さをうかがうことができる。

問9 貴事業所では、環境マネジメントシステムの導入についてどう対応していますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 ISO14001の認証を既に取得している。	7	6.2%
2 ISO14001以外の外部認証(みちのくEMSなど。)を既に取得している。	0	0.0%
3 将来的には、ISO14001、みちのくEMSなどの外部認証取得を目指している。	5	4.4%
4 外部認証取得は考えていないが、独自に環境マネジメントシステムを実施している。	6	5.3%
5 環境マネジメントシステムについては、現在対応を検討中である。	16	14.2%
6 今のところ環境マネジメントシステム導入の予定はない。	42	37.2%
7 環境マネジメントシステムについては、よくわからない。	36	31.8%
無回答・不明	1	0.9%



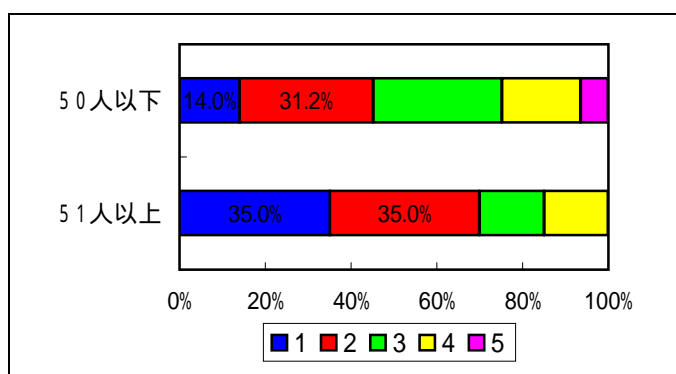
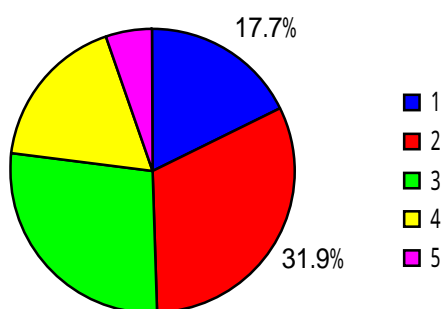
< 解説 >

環境マネジメントシステムの外部認証を取得している事業所は、従業員51人以上のところでは2割ほどあるものの、全体としては「導入の予定はない」と「よくわからない」が約7割を占めており、登米市内の事業所では環境マネジメントの導入はまだまだこれからの感がある。

「よくわからない」という事業所が多いことから、今後はPRも必要であろう。

問10 貴事業所では、グリーン購入(環境にやさしい物品等の購入)についてどう対応していますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

- | | | | |
|---|---|----|-------|
| 1 | エコマーク商品や省エネ製品などいつも環境にやさしい物品等を選ぶようにしている。 | 20 | 17.7% |
| 2 | いつもではないが、できるだけ環境にやさしい物品等を選ぶようにしている。 | 36 | 31.9% |
| 3 | できれば環境にやさしい物品等を買いたいですが、値段が高ければ買わない。 | 31 | 27.4% |
| 4 | エコマーク商品や省エネ製品などは知っているが、特に気にしていない。 | 20 | 17.7% |
| 5 | グリーン購入については、よくわからない。 | 6 | 5.3% |



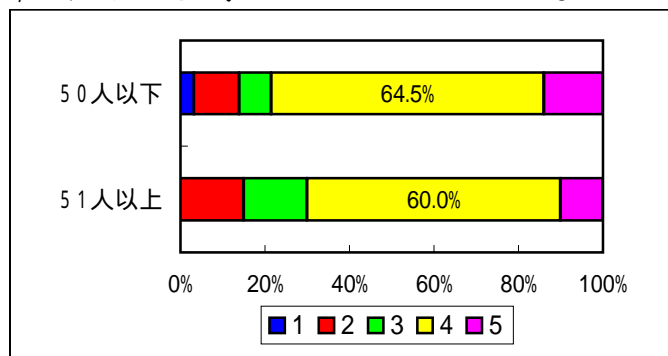
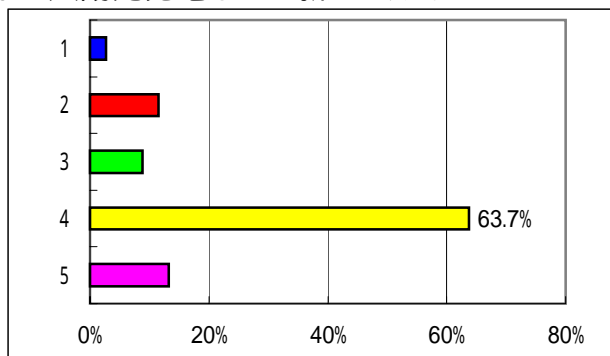
< 解説 >

全体では約半数(49.6%)の事業所が「いつもまたはできるだけ環境にやさしい物品を選ぶ」と答えた。同じ設問に対して「いつもまたはできるだけ環境にやさしい物品を選ぶ」と答えた方の割合は、18歳以上の住民アンケートでは24.3%、小5と中3を対象にした児童生徒アンケートでは17.0%であったので、事業所の環境に対する意識の高さがうかがえる結果となった。

ただ、「いつもまたはできるだけ環境にやさしい物品を選ぶ」と答えた事業所は従業員51人以上のところでは7割に達したが、従業員50人以下のところでは半数に満たなかったほか、グリーン購入についての理解も一部で不十分なところも見られるなど、事業所の規模によってかなりの温度差は感じられた。

問11 貴事業所では、太陽光発電やバイオマスなどの新エネルギーについてどう対応していますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

- | | | | |
|---|------------------------------------|----|-------|
| 1 | 太陽光発電などの新エネルギーを既に導入している。 | 3 | 2.7% |
| 2 | 今後、太陽光発電などの新エネルギーを導入したいと考えている。 | 13 | 11.5% |
| 3 | 太陽光発電などの新エネルギー導入については、現在対応を検討中である。 | 10 | 8.8% |
| 4 | 今のところ太陽光発電などの新エネルギー導入の予定はない。 | 72 | 63.7% |
| 5 | 太陽光発電などの新エネルギーについては、よくわからない。 | 15 | 13.3% |



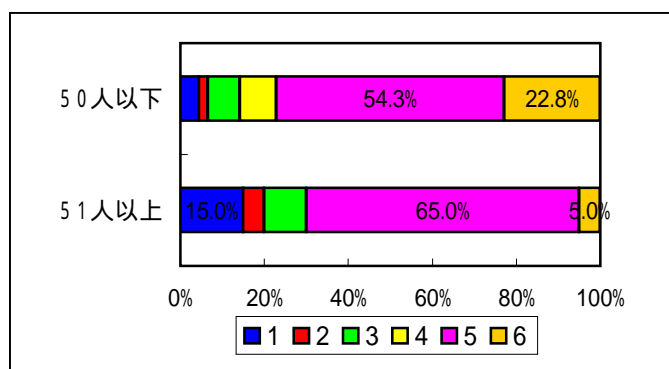
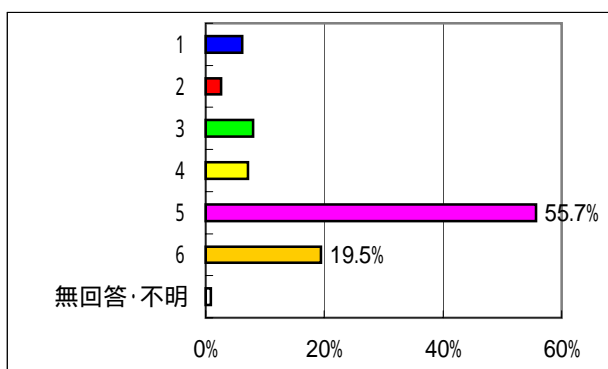
< 解説 >

一部に新エネルギー導入の動きは見られるものの、事業所の規模に関わらず6割以上の事業所は「導入の予定なし」と答えている。登米市内での新エネ普及にはもうしばらく時間がかかりそうだ。

問12 貴事業所では、環境ビジネスについてどう考えていますか。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 既に事業として環境ビジネスを行っている。	7	6.2%
2 環境ビジネスへの参入に向けて準備を進めている。	3	2.6%
3 今後、環境ビジネスに参入したいと考えている。	9	8.0%
4 環境ビジネスへの参入については、現在対応を検討中である。	8	7.1%
5 今のところ環境ビジネスへの参入の予定はない。	63	55.7%
6 環境ビジネスについては、よくわからない。	22	19.5%
無回答・不明	1	0.9%



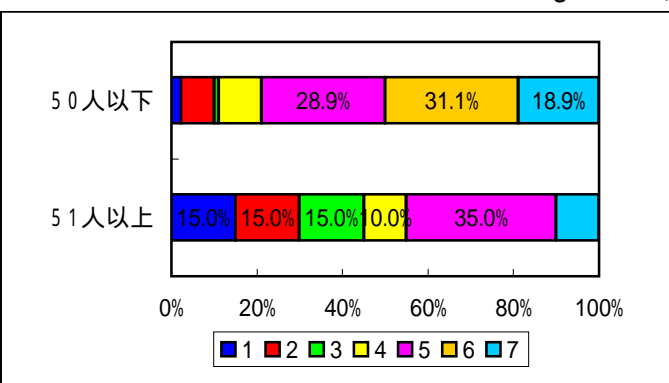
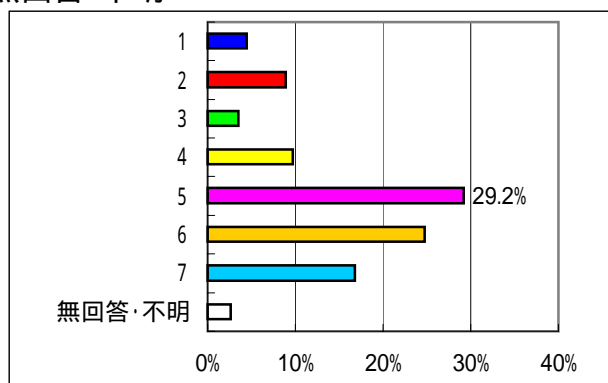
< 解説 >

全体では4分の3以上の事業所が「予定なし」または「よくわからない」と答えているが、一部に環境ビジネス算入に向けた動きも見られ、こうした動きが増えつつあるのかどうか動向に注目していきたい。

問13 貴事業所では、従業員に対する環境教育について、どのように対応していますか。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 勤務時間中に月1回以上環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている。	5	4.4%
2 勤務時間中に年1回から数回程度環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図って	10	8.9%
3 勤務時間外に環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている。	4	3.5%
4 環境教育は実施していないが、マニュアル等で環境配慮の徹底を図っている。	11	9.7%
5 今後、何らかの形で従業員への環境教育を考えていきたい。	33	29.2%
6 今のところ従業員への環境教育は考えていない。	28	24.8%
7 環境教育については、よくわからない。	19	16.8%
無回答・不明	3	2.7%



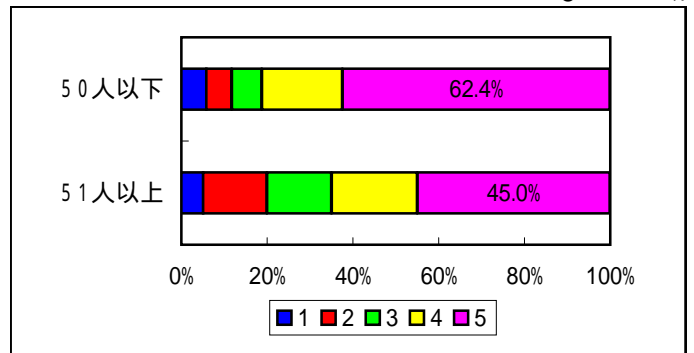
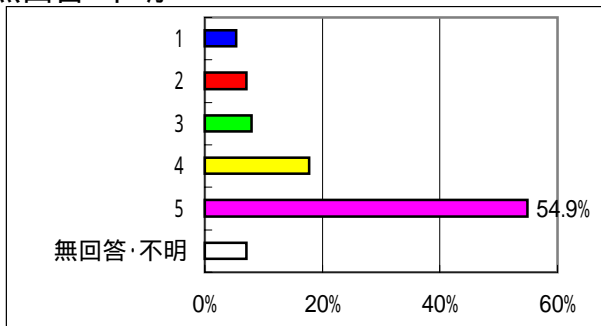
< 解説 >

51人以上の事業所では既に半数以上のところで何らかの形で従業員に対する環境教育を実施しており、その充実ぶりがうかがえる。「今後考えていきたい」を含めると9割に達するなど意識の高さは十分に感じられる。

50人以下の事業所では「実施済みと今後考えていきたい」を合わせても半数にとどまり、やや遅れが感じられる。人手も足りず、なかなか環境教育までは手が回らないのかも知れない。

問14 貴事業所での環境配慮の取り組みを市民や他事業所等に紹介することは可能ですか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 市民,小中学生,市内の他事業所の方を事業所内で案内して紹介してもよい。	6	5.3%
2 対象者を限定すれば事業所内で案内して紹介してもよい。	8	7.1%
3 映像や写真,文章等であれば紹介してもよい。	9	7.9%
4 口頭であれば紹介してもよい。	20	17.7%
5 紹介することはできない。	62	54.9%
無回答・不明	8	7.1%

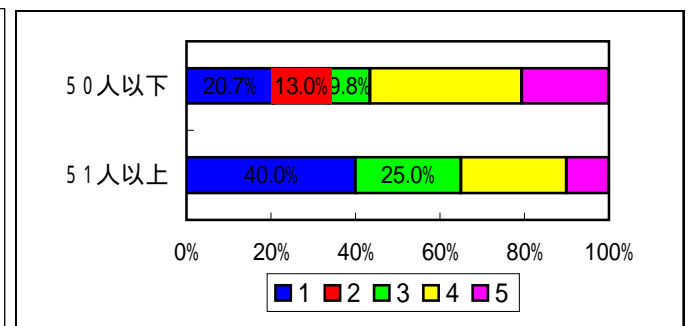
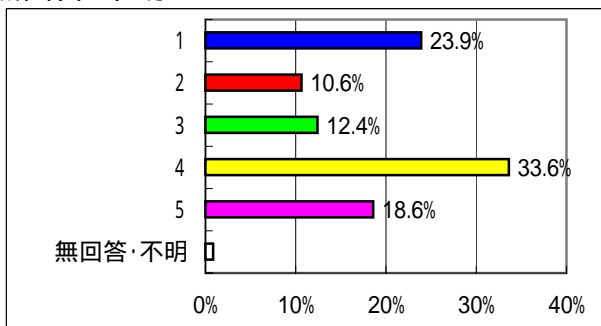


< 解説 >

紹介できないところが多いが、規模の大きい事業所を中心に、何らかの形で紹介できる事業所が一部にある。こうした事業所の協力を得て、市全体の環境保全意識の底上げを図っていきたい。

問15 貴事業所では、環境保全に関する社会活動(植林,清掃など。)についてどう考えていますか。
(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 既に取り組んでいる。	27	23.9%
2 今後,取り組んでいきたいと考えている。	12	10.6%
3 現在,対応を検討中である。	14	12.4%
4 今のところ取り組む予定はない。	38	33.6%
5 環境保全に関する社会活動については,よくわからない。	21	18.6%
無回答・不明	1	0.9%



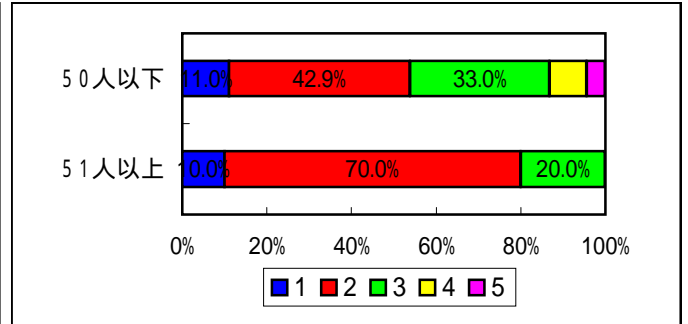
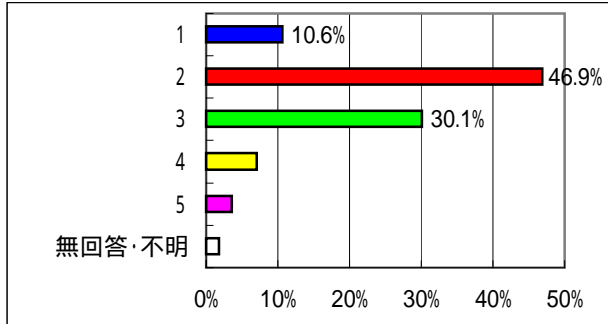
< 解説 >

全体では半数以上の事業所で「予定なし」または「よくわからない」と答えているが、実施済みや検討中も半数近くを占め、事業所における環境保全に関する社会活動は登米市でも広がりを見せていることが分かる。やはり事業所の規模で温度差は感じられ、規模が大きいほど進んでいる。

問16 貴事業所では、資源ごみのリサイクルについてどのような対応していますか。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 事業所からは、リサイクルできないごみは排出していない。	12	10.6%
2 ほとんどの資源ごみは、それ以外のごみと分けて回収するようにしている。	53	46.9%
3 どちらかといえば資源ごみは分けて回収することの方が多い。	34	30.1%
4 どちらかといえば資源ごみとそれ以外のごみを分けずに捨てることの方が多い。	8	7.1%
5 資源ごみとそれ以外のごみをほとんど分けずに捨てている。	4	3.5%
無回答・不明	2	1.8%



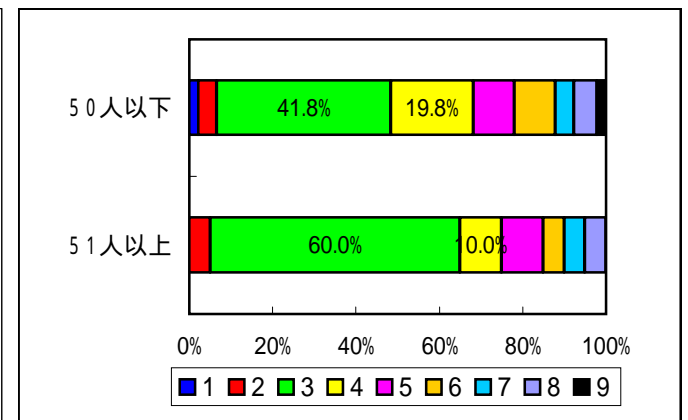
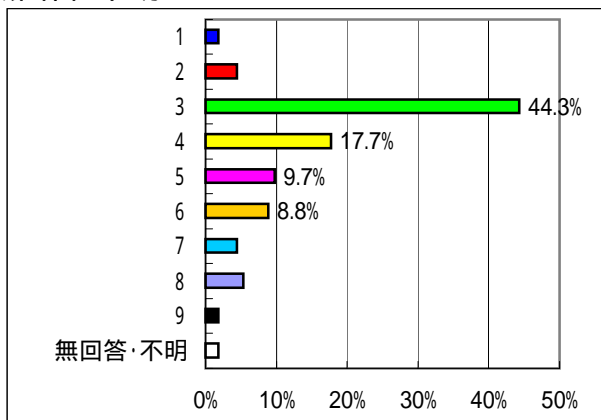
< 解説 >

事業所における資源ごみの分別回収はかなりの浸透が見られ、従業員51人以上のところでは相当の意識の高さがうかがえる。小規模の事業所ではわずかながらも意識が十分でないところが見られるので、なお改善の余地が見受けられる。

問17 貴事業所で最も関心のある環境問題は次のうちどれですか。

(最も近いと思う番号を1つ で囲んでください。)

1 自然環境問題(野生生物を含む。)	2	1.8%
2 公害問題	5	4.4%
3 廃棄物(ごみ)問題	50	44.3%
4 リサイクル(資源循環)問題	20	17.7%
5 エネルギー問題	11	9.7%
6 地球温暖化問題(二酸化炭素排出削減など。)	10	8.8%
7 環境健康被害問題(化学物質によるリスクなど。)	5	4.4%
8 環境教育	6	5.3%
9 その他()	2	1.8%
無回答・不明	2	1.8%



< 解説 >

事業所で最も関心のある環境問題は「廃棄物」で、次いで「リサイクル」、「エネルギー」、「地球温暖化」の順でこれに続いている。ごみやリサイクルは18歳以上の住民アンケートでも市民が最も急務の課題としてとらえられており、確固たる対策と循環型社会形成へのしっかりした道筋を示す必要がある。

問18 環境問題,環境行政に関してご意見やご要望がありましたらご記入ください。

主なものとして,次のような意見や要望が寄せられた。

- ・河川や湖沼の水質浄化活動に協力しているが,生活排水の下水処理により早急に改善されるよう希望しております。
- ・大型店で回収している発砲トレイ類ですが,面倒になると燃やせるごみ袋に入れてしまうので,毎月のリサイクル日に行政で回収してもらえるとたいへん助かる。
- ・零細企業で経営的に厳しい現在,正直言って環境までまわす経済的余裕はありません。環境は大事だとは思いますが...。個人的には耐久消費財を買うときなどそれを処分するときの方法などを考えるようになりました。
- ・一般のごみ収集の時,まだリサイクルできるカン,ビン等を出している家庭があるので,もう一度皆(行政区)で話し合った方がよい環境づくりができると思っています。
- ・小中学生の環境教育の充実
- ・環境問題を重視すれば発展は難しい状況である。発展を重視すれば現在の法制の下では自然と環境問題もついてくると思う。
- ・県道,市道の草,木の刈り取りをもっとこまめに行ってほしい。
- ・中小企業の環境も大事だが,官庁関係の事業所の大気,水質,悪臭についてもう少し窓口を開けてほしい。
 - (1)大気,水質,悪臭の検査結果の公表
 - (2)し尿処理場,下水処理場,焼却場,有機センターなどの大気,水質に及ぼす影響や悪臭の状況これまでも「努力中」などと言われ,改善の期限や具体策が住民には見えない。
- ・市で購入,発注するものはISO14001有資格企業を優先すべきだ。環境条例を施行する市は,自ら努力している企業を優遇してして当たり前。市もISO14001を取得すべき。取得には高額な予算がかかるが,その価値の重さは取得してはじめてわかるのでは。また,為政者としての立場上当然のことでしょう。
- ・私たちの行政区では道路清掃などを行っていますが,各行政区への補助が少しでもあれば参加人数も増えるのではないのでしょうか。年1回が2回になったり,参加すれば環境のことも考えるのではないのでしょうか。
- ・廃油処理(燃料化)を一般家庭に限らず,事業所からも出せるようにしていただきたい。大量処理,大量製造により装置の購入,人員の確保が必要になったとしても進めるべきと考えます。
- ・企業から出る産業廃棄物の処理について,できるだけ低価格で処分したいのだが,それについて考えてほしい。
- ・環境問題は単独の市だけでは対応できないと思う。広域ネットワークを設立して問題に対応してほしい。健康や基幹産業である農業に影響する水質や大気の問題に重点的に取り組み,「健康にやさしく住みやすい登米市」を実現してほしい。
- ・職員の質の向上を図ってほしい。
- ・資源ごみのリサイクルに関しては,昨今各市町村や個々の認識の高さがうかがえると思う。しかし畜産業者でたい肥や汚染処理についてずさんな者もいるようだ。行政は市街地だけでなく周辺部にも目を向けて,こうした業者の指導をしっかりとっていただきたい。
- ・地方の庁舎のイメージが暗いので,庁舎内の緑や花などの小さな環境も見直してはどうか。地球規模の環境対策と一緒にもう少し身近な環境にも力を入れることを望みます。
- ・ハクビシンやブラックバスなどの外来動物,セイダカアワダチソウなどの外来植物が身近に繁殖し増えているようなので,ペットしての小動物等も含めて輸入からの段階で規制が必要だと思う。

いただいた意見,要望は今後の環境行政に活かしていく方針である。